

# 操縦性向上および負担軽減を目的とした サイドビューモニタの配置の検討

## 研究の概要と特徴

- 日本人は運転を楽しんでいない傾向があり、運転支援システムへの過信によるリスクが懸念
- 車幅感覚を掴みやすくすることで、ドライバがより運転を楽しめるような手法を提案

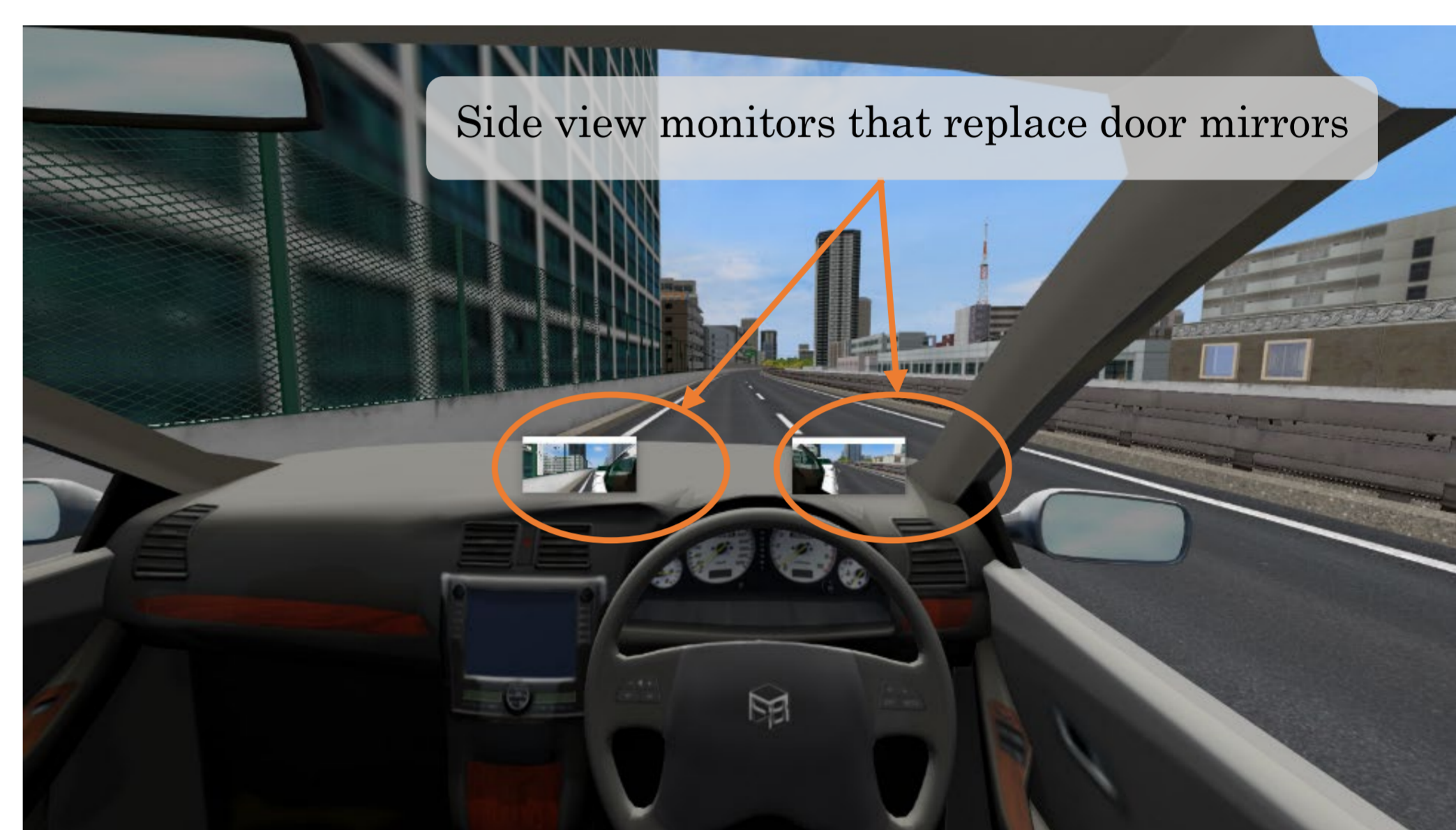
## 研究の内容

- 運転の楽しさについて調査を行い、思い通りの操縦と負担の軽減を実現できる手法を検討
- ドライビングシミュレータを用いた実験を行い、提案手法の効果の検証を実施

### サイドミラー配置について

ドアミラーに代わる装置「カメラモニタリングシステム(CMS)」が解禁され、今後さらなる車種への展開、普及が期待

- 視線移動の少ない視界前方にモニターを配置
- 直感的な車幅の確認を目指し、車両両端の延長線上と重なる位置に決定



### ドライビングシミュレータを用いた走行実験

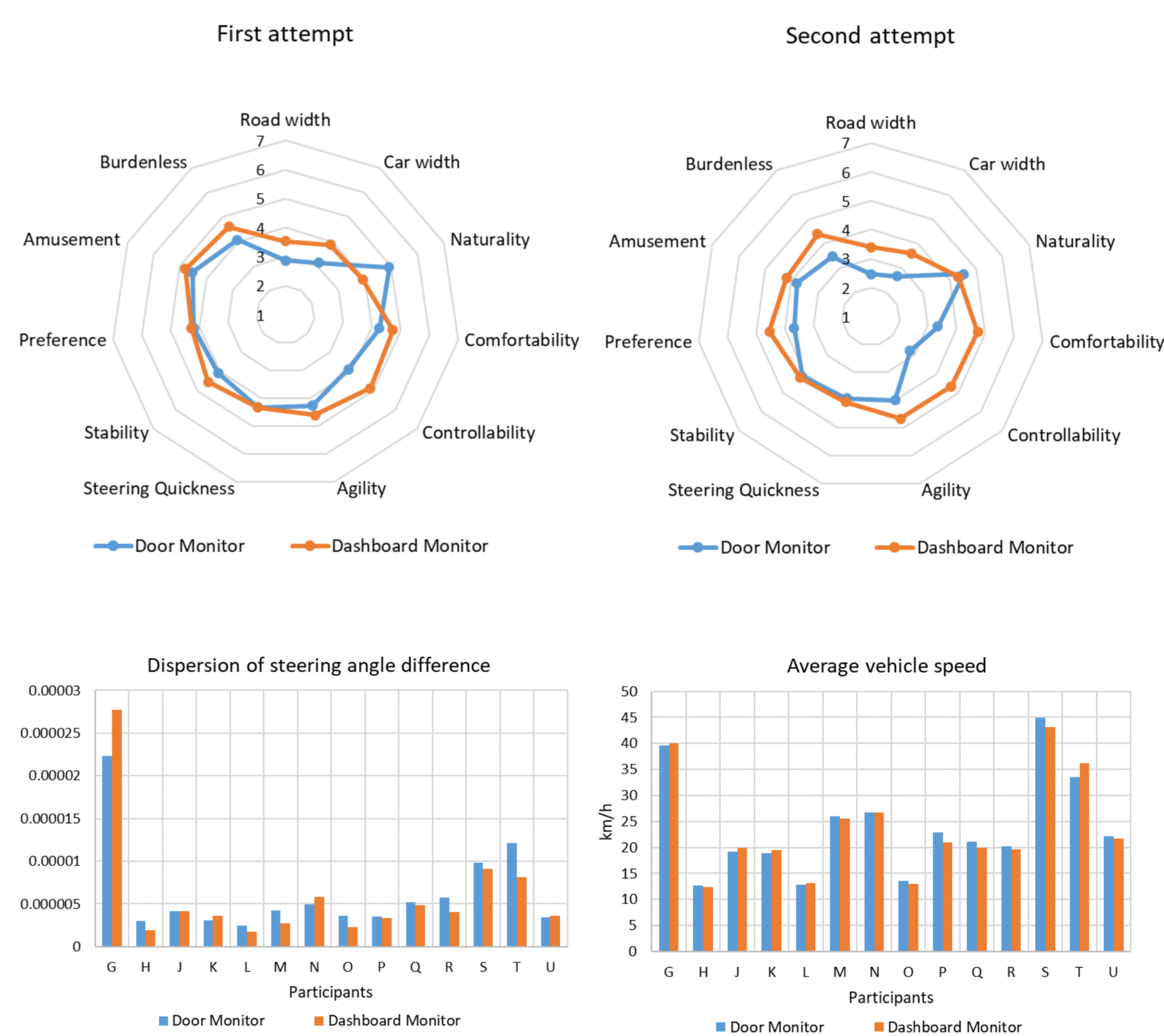
実験協力者15名を対象に実験を実施

#### <主観評価結果>

- 従来の位置と比較してポジティブな印象
- 狭路での走行ではその傾向が顕著
- 違和感を覚える人がいるものの、慣れによる改善が期待

#### <走行データ解析結果>

- 提案手法のステアリング操作がややスムーズな傾向
- 平均速度はほぼ同位
- モニタ配置の変更による運転操作への悪影響無し



## 研究の効果並びに優位性

サイドミラーの配置をダッシュボード上に変更することで、ドライバの運転に対する印象が改善

## 技術応用分野・企業との連携要望

自動車を対象としたHMIの開発を計画している企業との連携を希望